

鉄筋コンクリート造建築物の鉄筋かぶり測定

～JASS 5 T-608:電磁誘導法による非破壊検査～

日本建築学会「建築工事標準仕様書・同解説 JASS 5 鉄筋コンクリート工事」において、せき板や支保工を取外した後にかぶり厚さ不足が懸念される場合、構造体コンクリートのかぶり厚さの非破壊検査を受けることが規定されています。

お任せください！計画書作成から報告書作成まで、**一貫したサービス**で現場作業をお手伝いたします。

■電磁誘導法による鉄筋かぶり厚さ測定

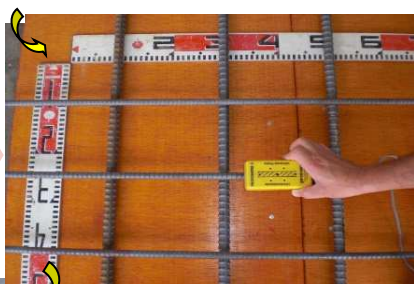


●使用機種

JASS 5 T-608に規定される性能を有した電磁誘導法探査機を用いて計測いたします。

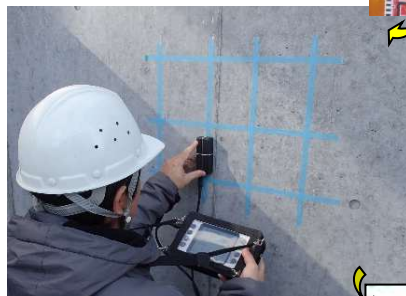
●補正值の設定

配筋図を基に模擬配筋を組立て、所定のかぶり厚さごとに補正值を設定します。



●現地計測

現地構造体各部材において鉄筋位置のマッピングを行った後、かぶり厚さ測定を行います。



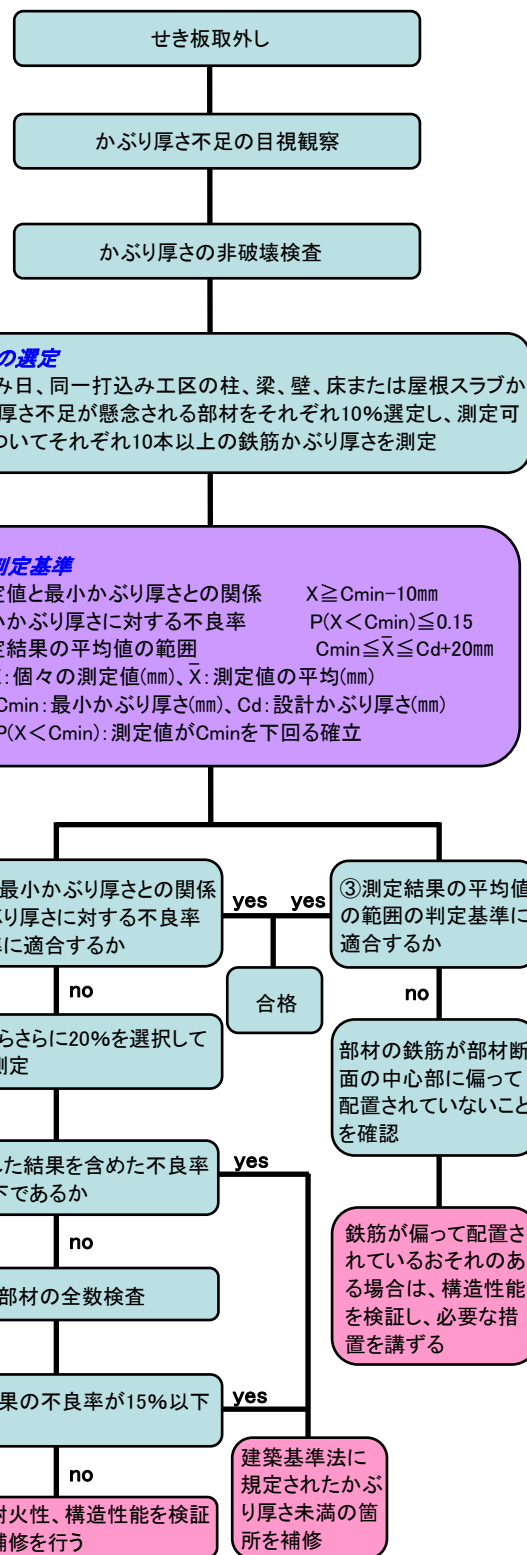
●成果報告

測定かぶり厚さの補正、合否判定後、成果報告いたします。



■注意事項

- ・事前に配筋図などの設計図書をご提供願います。
- ・調査箇所および数量については、要相談とさせていただきます。
- ・調査計画に変更が発生した場合は、再見積もりとさせていただきます。
- ・その他試験に関する問い合わせは、下記担当部署までご一報お願いいたします。



JASS 5 T-608 非破壊検査フロー

その他の
パンフレット

